

Field Study

Field Study 2016-1/2 + Field Study Workshop 2016-1

July 3-4, 2016:

7月3日（日）：野外調査（Field Study 2016-1: 巡検）およびワークショップ

9:30-13:45: 京都府南部・京都市北部における牧場の変遷（野外調査）

巡検の趣旨：この巡検の趣旨は、明治43年の地誌の叙述より、例えば、現在の京都市の旧田中村（京大周辺）で、乳牛の牧場が15ヶ所あり、310頭の乳牛が飼われていたことが記載されております（他でも飼育されておりました）。当時はこの地は京都市と市外が接する場所でした。1912年の地籍簿では、三井家や住友家の邸宅や所有地も見られる地域です。乳業用の牧畜はかなり新しい傾向だったと思われます。それとは異なり役牛については江戸期からも広く分布しており、愛宕郡の最北端である久多などでは、戦後もしばらくの間は、一家に一頭というような割合で飼育され、お嫁さんが全ての世話をしていたことが知られています。他方で、現代では、京丹波町などでの肉牛としての丹波牛の生産などが知られております。牛の飼育地から社会の変化や地域ネットワークの変化を探ることを当面の目標として、巡検を行う予定です。

訪問先1：株式会社いづつ屋ほか、現在の牧場所在地

（京都府船井郡京丹波町須知岡畑16、Tel.: 0771-82-0035）

訪問先2：京都旧愛宕郡田中村等周辺（出町柳周辺等、明治期の牧場所在地）

14:00-18:00: Field Study Workshop 2016-1（ワークショップ）

場所：総合地球環境学研究所 セミナー室 5

ワークショップの内容：

司会：村山 聡（香川大学）（プロジェクト内容及び北海道グループの紹介を含む）

第1報告：服部亜由未（愛知県立大学）

「春鯉を求めて北へ向かった人々」

第2報告：野間万里子（日本学術振興会）

「根釧パイロットファーム初期入植者の経験」

ディスカッサント：島西智輝（東洋大学）

7月4日（月）：野外調査（Field Study 2016-2: 資料整理）およびワークショップ

9:00-15:45

調査地：雲ヶ畑自治会館（京都市北区雲ヶ畑、Tel.: 075-406-2001）

趣旨：村山FSでは近世近代日本の地誌を中心に地域資料の調査を実施している。そのため重点対象地京都市北区雲ヶ畑地区の地域資料・古文書の整理を行う。前日の巡検とも関連して、1880年頃と1908年の二つの時期の地誌が比較できる愛宕郡について、雲ヶ畑で近世から近代にかけての貴重な行政文書が発見されました。近世から近代をつなぐ文書群は非常に限られておりますので、近世近代を中心に扱う本研究プロジェクトでは中核的な史料になる可能性があります。まだ文書目録すら作成されていないその資料整理のための初回の調査を翌日4日月曜日に、京都府立大学の東昇氏を中心にチームを組んで行う予定です。

16:15-18:00: Field Study Workshop 2016-2（ワークショップ）

場所：総合地球環境学研究所 セミナー室 5

趣旨：旧愛宕郡に関する調査研究について、以下のような諸点について自由討議を行いたいと考えています。まずは

- (1) 上記の雲ヶ畑文書の調査研究をいかに進めるか、また
 - (2) 前日に行った近世近代および現代の牧場に関する巡検ならびに北海道グループのワークショップを踏まえ、村山FSとしてどのような趣旨と方向性において、地域研究としてのLiving Spaces Projectを遂行し、さらに
 - (3) アクションリサーチ研究や数理地理モデリングとつなげてくかに関して議論をすることを課題にしたいと思います。
-